

山弓連 平成23年4月

更なる躍進を 会長 天野 裕

東日本大震災

3月11日の三陸沖を震源とする東日本大震災は、正に忘れた頃やって来た天災でした。

加えて、福島第一原子力発電所の事故は世界のエネルギー政策を根本から考え直させる程の大事件となりました。一瞬にして失われた命と日常生活の破滅の大きさは、日毎に明らかになり、見る人、聞く人を震撼させています。しかし、被災の当事者と非当事者の間には越えがたい深淵があることは言を俟ちません。その悲惨な壊滅状況を表す「すべての言葉は枯れ葉一枚の意味も持たない」、がそこから共に歩みだすしかない(天声人語)のが私たち同胞の置かれた状況であります。

こうして迎えた新年度は、小瀬武道館が被災者を受け入れる為に使えないこととなり、山弓連最初の行事は甲府の青葉弓道場を会場としてスタートしました。甲府支部のご厚意に心から感謝申し上げます。当日、同射場内で行われた理事会で、この東日本大震災被災地への義援金を全日本弓道連盟経由で日本赤十字社が纏める事業への参画を決定しました。弓友各位の力強いご厚志をお願い致します。

役員交代

さて、本連盟では3月20日の総会で22年度末をもって任期満了を迎えた旧役員の内、理事長と総務部長の2名の交代だけで他は再任されました。(別表参照)旧理事長の有賀武雄、総務部長の鈴木茂雄の両氏のご尽力に衷心よりお礼を申し上げます。新理事長の森岡博文、新総務部長の菊池敏彦の両氏の活躍に期待し、会員皆様のご支援・ご協力を切にお願い致します。

前年度の状況

昨年度を顧みますと、全国的に目覚ましかったのは全国高等学校総合体育大会(インターハイ)で準優勝した巨摩高等学校の女子団体の活躍と国民体育大会

(千葉県)で少年女子の遠的3位と成年男子の近的4位入賞、更に個人では明治神宮奉納全国弓道大会で近的第3位に入賞したベテラン佐野辰巳選手の活躍であります。

選手強化部の複数年度をスパンにした強化指導計画と高体連弓道専門部の強化指導が連携する中で鍛えられた選手達の弛まぬ修練の賜であります。また指導部の段位や実力に応じたきめ細かい内容の濃い講習会実施と参加された方々の熱意により、昨年以上の昇段昇格者が誕生しました。

競技部長は事故による負傷をよく克服しながら、年間を通じて各種競技会の運営に尽力され、大勢の参加者を招集して大会を盛り上げて頂きました。段位別選手権大会やYBS杯争奪戦、県体育祭りの大会のみならず、その年のスタートや締め括りの初射会・納射会等への参加をも盛り上げたいものです。会員諸氏の更なる参加協力を期待しております。

年間5回ある県内審査会や地元で開催される連合審査会への参加者数は稍減少気味か横ばい状態です。弓道修練の進歩の過程を検証する機会として積極的な挑戦が必要です。

各種大会で競技力を発揮することは確かにモチベーションを高めてくれるものであり、弓道修練の大事な要素ではありますが、その腕前を更に向上させるためには弓道修練の眼目に照らして年々検証する継続的努力が必要であります。

年に1回開催される「女子大会」は、一般会員のみならず女子高校生の参加を得て社会人との交流の場として、「高校3年生・社会人交流大会」と並んで生徒と社会人との壁を低くするものとして、将来の人口増加への期待があります。しかし、この2つの行事だけで事足りるとしては連盟の発展はほど遠く、新たな取り組みを模索しているところであります。弓道人口拡大には熱意ある諸氏の建設的アイディアが切に望まれます

物故者: 五段 小宮山庄甫(87才)、教六 田中守正(81才)、四段 小俣嘉助(85才) 謹んでご冥福をお祈り致します。

昇格者: 錬士昇格 岩柳一誠、小林睦美、 教士昇格

上野捷利、長田長久、菱山忠夫、古屋浩元、菊池敏彦

昇段者 七段昇段 天野 裕

大きな震災の中、新年度を迎えましたが新役員と共に更なる躍進を期して行きたいと思っております。会員諸氏の一層のご活躍とご支援ご協力をお願い致します。

平成23・24年度役員

役職名	氏名
名誉会長	中澤利正
会長	天野 裕
副会長	秋山照美
副会長	古屋俊彦
副会長	五味光仁
理事長	森岡博文
総務部長	菊池敏彦
総務副部長	芦澤茂幸
総務付理事	有賀武雄
指導部長	小林源治
審査部長	佐野辰巳
競技部長	長田長久
選手強化部長	深澤武重
女子部長	標 衣枝
監事	上野捷利
監事	小澤重平

青葉弓道場で県予選会

小瀬武道館は4月末日まで東日本大震災被災者の避難所となり、競技団体による使用が全面的に禁止になった。幸い4月中は甲府の「青葉弓道場」と石和の「清流館弓道場」を山弓連の行事に使わせていただけることになった。

4月3日最初の行事、「全国健康福祉祭弓道競技会（全国ねんりんピック）」と「全国勤労者選手権弓道大会」の県代表を決める予選会が青葉弓道場で開催された。ねんりんピック大会予選には26名、勤労者大会の予選には横河電機の1チームが参加した。これまで有力チームとして参加していた東京電力チームは今回の地震による福島原子力発電所の事故で弓道競技どころではなかった。世間では東京電力社員やその家族にまで非難や中傷、嫌がらせ類の言動があると報道されていたが、青葉弓道場では同じ弓道の仲間として参加出来なかった馴染みの顔ぶれ不在に、同情こそあれ非難めいた声はあがらなかった。厳しい冷え込みの中での決

戦は次の結果となった。全国勤労者選手権大会

(6月 岐阜県恵那市) 横河電機チーム

ねんりんピック大会 (10月熊本県熊本市) :

男子…市川明 (笛吹)、竹村栄寿 (甲府)、網倉徳夫 (笛吹)、金子力 (笛吹)、補欠 鈴木茂雄 (大月)

補欠予備 長田長久 (笛吹)

女子…古屋昭子 (甲州)、補欠 中村秀子 (笛吹)

補欠予備 標衣枝 (笛吹)

本大会での活躍を期待しています。

平成22年度優秀地連が正式決定しました。

山梨県は、全国高校弓道大会で女子、国体で成年男子、少年女子の活躍があり、総合得点54点で第10位に決定しました。

平成23年度 段位別兼全日本、関東選抜予選

平成23年4月17日(日)9時

石和清流館弓道場

震災のため会場が清流館となり新年度の山弓連最初の全体の大会が開催されました。天野会長が震災の被災地に向け哀悼の意を表し、普通に弓を引けることに感謝し、被災地の早期の回復を願いたいとの挨拶があり、続いて新年度の改選役員の紹介をされました。節電のため夜間の稽古ができなく、練習不足だと思いが頑張ってよい成績を残すようにと激励して、大会は開催されました。大会成績(4矢2回計8射)

三段以下の部

優勝・岩崎 博 6中 射詰〇〇〇〇〇

2位・篠崎 亮 6中 射詰〇〇〇〇×

3位・羽田 穂高 6中 射詰〇〇〇×

四段の部 優勝・桑原 良 7中

2位・青島 勉 6中遠近

3位・上条 剛央 6中遠近

五段の部 優勝・大野晃史 8中

2位・神田英彦 6中遠近

3位・萩原英寿 6中遠近

称号の部 優勝・鈴木茂雄 7中

2位・標 輝人 6中

3位・柳本武彦 5中

会員の皆様ご承知のように、山弓連では被災地への義援金を募集しております、4月30日迄です、是非大勢の募金をお願いいたします。